

同じコトガラの異なる表現について

李奇楠（北京大学）

要 旨

世の中にはいろいろな存在がある。人間自身も含めて、そのさまざまな存在を捉える場合、ふつうことばを用いて表現する。どのような表現を使うか、言語使用者の着眼点による。着眼点は捉えられるものごとの性質にもとづくことが多い。同一のコトガラには多面的特徴を有する可能性が高い。そのなかのどれを選ぶか、認識者・表現者の問題となり、多様な名づけで示す現実が生まれる。本研究は、品詞ごとに、いわゆる名詞、動詞、形容詞や副詞などのような語レベルにおける同じコトガラの異なる表現を考察している。それを通して、色彩豊かで華やかな言語使用実態と人間の認知の幅広さ・奥深さのような無限性との関係を探知できたと言える。
キーワード: 同じコトガラ、異なる表現、名詞、動詞、認知

1. はじめに

結論を先に言うと、同一の物事については、必ずしも同じ述べ方だけではない。それはどの物事にも多様な性質を備えるからであろう。その物事を認識するわれわれ人間は同一人物・事物・現象などの豊かな特徴のどの側面に注目しているかによって、表現も違ってくる。本考察はそのような表現に焦点を当てて記述し、概念付けに至った経緯を辿りながら紐解こうと考えている。

ちなみに、同一の物事という言い方もよいが、世の中のすべてのもの・ことなどをさすので、近年認知言語学の分野においてよく使われているコトガラのほうを用いることにする。表記は漢字ではなく、そのような物事の網羅性や本来の客観性を取り立てるため、感情の色彩を帯びないカタカナ表記を採用する。

2. 異なる表現について

同じコトガラであるのに、異なる表現になったのはなぜか。あの有名な「ルビンの杯 (or 盃 さかずき)」（「ルビンの壺」とも呼ばれている。ここでは、ルビンのさかずきと呼ぶ（表記する）ことにする。）から考えてみる。

「ルビンのさかずき」は下記図（1）のように背景に黒地を用いた白地の図形で、向き合った2人の顔にも大型の壺（盃）にも見えるという特徴を持つ。初出はルビンの著書『視覚的図形』（Synsoplevede Figurer 1915）であり、ルビン（Edgar·Rubin 1886～1951）はデンマークの心理学者である。⁽¹⁾

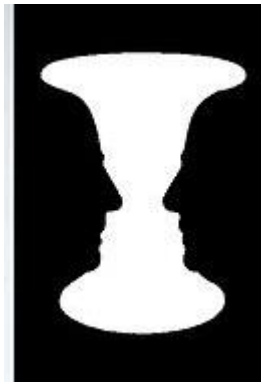


図 (1) ルビンのさかずき

ルビンのさかずきでは白地（つまりさかずきのように見える部分）を図として認識すると、黒地（つまり2人の横顔のように見える部分）は地としてしか認識されず（逆もまた真である）、決して2つが同時には見えない。つまり、一方が図になるとその形が知覚され、残りは地としてしか知覚されないのである。ここで特に注目したいのは、どちらかに認識されるとき、その表現の形式が「さかずき」か「2人の横顔」になることである。知覚の差異はわれわれ人間の言語使用へ与えた影響の結果、いわゆる異なる表現になったわけであろう。

もう一つよく知られる(?)例であるが、ある「容器の中の液体」に関する認識及びその異なる表現である。次の図(2)⁽²⁾を見てみよう。あるグラスには水が半分入っている。それについて四つの解釈が取り上げられている。Langacker(2008)の山梨正明監訳(2011:55-56)には以下のような説明がある。

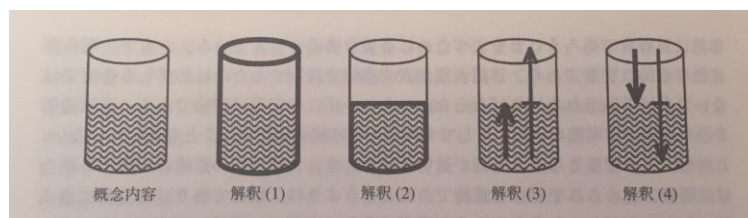


図 (2) 四つの解釈

概念レベルでは、この概念内容をかなり中立的な方法で喚起することができる。しかしそれを言語化すると、そこに必ずある解釈が生じてしまう。図 2.5 の概念内容には4つの可能な解釈があり、それぞれが別々の言語表現に対応している。太線で描かれている意味の違いは、知覚する状況の中で言語表現が何を示し何を参照しているかによる。解釈(1) *the glass with water in it* は、容器を示しており、解釈(2) *the water in the glass* は、容器の中の液体を示している。解釈(3) *the glass is half-full* は、液体によって占められている容量が容器に入れられる量のちょうど半分であるという関係を、そして解釈(4) *the glass is half empty* は、容器の空いている部分が容器の容量のちょうど半分であるという関係を示している。(Langacker(2008)の山梨正明監訳(2011:55-56))

同じ概念内容、ここでわかりやすく言うといわゆる同じ現象あるいは状況や存在については、話者の注目の部分によって、異なる捉え方が出てしまい、それぞれ違う表現が生じた。

観察される対象の構成要素が多ければ多いほどおよそその解釈もさまざまになるであろう。「ルビンのさかずき」もこのちょうど半分の水が入っているガラスの容器もまだ知覚しやすい用例だが、さらに複雑なコトガラを日々、人々に認識され、表現されているからきっと気が遠くなるほど無数の可能性が含まれているに違いない。

ここでは、そのような同じ状況とさまざまな表現との関係を考察し分析してみる。語のレベル、文のレベル及び発話機能的分析との結び付けに分けて考えてみたほうがよいと思うが、文字数の制限もあるので、今回はまず、語のレベルを中心に論じる。

3. 語による異なる表現

毎日家族同士や友人同士や同僚同士などのコミュニケーションが欠かさず行われている中、この世界を日々認識、理解しているうちに、同じコトガラの異なる表現にしばしば出会えると思う。今回、本研究は、語レベルの表現に限定して考えるので、名詞あるいは名詞の組み合わせ、動詞、形容詞、副詞などのような順で具体的例を取り上げながら考察する。

3.1. 名詞の異なる表現

いちばん身近な用例はおそらくわれわれ自身に関する呼称かもしれない。同じ人間なのに、いくつかの呼び名をふつつ持っているであろう。毎日呼ばれたり呼んだりしているうちに無意識になったり気づかずに過ごされていることが多いかもしれないが、次の例を取り上げてみる。

(1) 自称は「俺」「僕」「オイラ」。それぞれ場の雰囲気に合わせて使い分けている。「オイラ」は下町・職人言葉の位置づけで、自身が育った島根町が職人街だったことと関連するとしている。⁽³⁾ かつて足立区の広報誌から受けたインタビューでは、「足立は東京の下町だね。その足立の下町が島根だというの。島根は下町の中の下町。足立の中の下町だって思うんだよね」とコメントした。

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%93%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%9F%E3%81%91%E3%81%97>, 2016年1月5日参照)

(2) 愛称は「たけし」、多くの芸能人からは「たけしさん」と呼ばれるが、タモリや和田アキ子からは「たけちゃん」、たけし軍団やたけしを慕っている後輩芸人からは「殿」と呼ばれており、所ジョージからは「北野さん」や「おじさん(おいさん)」と呼ばれ、明石家さんまからはたまに「おっさん」「ビート」と呼ばれる。笑福亭鶴瓶からは「兄さん」とも呼ばれている。

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%93%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%9F%E3%81%91%E3%81%97>, 2016年1月5日参照)

上記のように、(1)も(2)も自称・他称の差があるが、同じ人物のことを紹介している。この方はビートたけし(1947年1月18日-)で、日本のコメディアン、タレント、映画監督、俳優であり、本名は北野武(きたのたけし)である。(1)の自称は三つ取り上げている。場の雰囲気による使い分けと書いてあるが、とくにその「オイラ」の使用理由を詳しく説明している。それは北野武氏自身の自分に対する下町生まれのアイデンティティの

認識の現われだと言えるであろう。(2)の他称は他の芸能人との親近疎遠のような関係でさん付けやちゃん付けや呼び捨てなど計8種類にも上がる。実際、おそらくここに書いていない自称・他称もあると思うが、自称3個、他称8個、合計11個で同じ人物を指すことができることから、同一人物の異なる呼称の代表例としてふさわしいであろう。表でまとめると以下のようなになる。

北野武 (きたのたけし)	
自称	「俺」「僕」「オイラ」
他称	「たけし」「たけしさん」「たけちゃん」「北野さん」「おじさん (おいさん)」「おっさん」「ビート」「兄さん」

表1 同一人物の異なる呼称

わたしたちは自分自身や他人についての認識による異なる表現以外に、生活している自然環境における外側の現象を認識、表現するときも同じことが見られる。

人称ではないが、複数の人がいるグループや同世代の人々を指す場合、事情により異なる呼称を与えるケースがしばしば見られるであろう。

- (3) 中居ら“造反組”の4人には今後、イバラの道が待ち受ける。生放送前夜の17日、ジャーニー氏とメリー喜多川副社長(89)に謝罪したが、一度は女性チーフマネジャー、Iさん(58)とともに独立に動いた事実は重い。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160120-00000502-sanspo-ent>)

- (4) 大学入試センター試験2日目の17日は、数学と理科の試験が行われた。2016年の現役生は、新しい学習指導要領で全科目を学んだ、いわゆる「脱ゆとり世代」となる。(http://headlines.yahoo.co.jp/videonews/fnn?a=20160117-00000861-fnn-bus_all)

表でまとめると以下のようなになる。

メンバーたち	「中居ら」「中居らの4人」「造反組」
大学受験生(2016年)	「2016年の現役生」「脱ゆとり世代」

表2 複数の人間に関する異なる呼称

(3)の「造反組」は中居ら4人のメンバーを示し、(4)の「脱ゆとり世代」は2016年の大学入試センター試験に参加する現役生を指し、それまでの「ゆとり世代」とは一線を画すことになっている。(3)は事務所を離れ独立しようとする中居ら4人のことを「造反組」の新しい(一時的かもしれないが)呼び名をつけたのであろう。(4)は今までの「ゆとり世代」とは違い、新しい学習指導要領で全科目を学んだことになった大学入試を受けた現役高校生全員を「脱ゆとり世代」の新名称で呼ぶようになったのである。呼び名や呼称の概念付けはそれを創った人間側いわゆる言語使用者のその対象に関する捉え方を表わしているし、世相の現われ(に関する捉え方)でもあると言える。

人間自身に関する表現はあだ名のようなものもあり、例えば夏目漱石の『坊ちゃん』の中にある「赤シャツ」や「狸」や「山嵐」や「うらなり」などもそうである。その人のいつも着る服、あるいは顔姿や性格の特徴における類似性を持つ他の動物や植物の名前などを借りて、当の本人を名づけることになるのは日常生活を運営する中、誰しもやったこと

があるだろう。

(5) 全国的に厳しい寒さ、都内の鶴の像に氷の翼

【AFP=時事】上空に強い寒気が入り込んだ影響で全国的にこの冬一番の冷え込みとなった25日、都内の日比谷公園にある「鶴の噴水」では、鶴の像が広げる翼に大きなたつらができた。

(http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160125-00000042-jij_afp-int)

(5)の記事には「氷の翼」の名詞の組み合わせがあり、記事の中にある写真を見ればわかるが、それは寒さで「大きなたつらができた鶴の像の翼」を指している。(よく考えてみれば、この翼も生き物の鳥類である鶴の翼ではなく、彫刻の鶴の翼である。)記事のタイトルに使われている表現で、形態的にも意味的にも簡潔明瞭のため、同じ意味的カテゴリーに入るつららの上位概念である氷で鶴の像の翼を修飾して、の格構造の「氷の翼」を用いることになったであろう。次の例にある「霜の花」も同じことが言える。

(6) 厳寒の阿寒湖、湖面に広がる「霜の花」

厳寒期を迎えている北海道東部の阿寒湖で、結氷した湖面に霜の結晶が成長する現象が見られる。白い花が咲くように見えることから「フロストフラワー」と呼ばれる。(http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160125-00050081-yom-soci)

(6)にある「霜の花」は「霜の結晶」を表し、日本語独特の外来語表現の「フロストフラワー」も異なる表現の候補の一つとなっている。ふつうの植物の花ではないが、その形が似ているので、「花」ことばを使用するようになったのであろう。「氷の翼」にしても「霜の花」にしても(他の例は次の(7)の「氷の宝石」などもあるが)認識されるものとその物の性質に関わる他の構成要素(付着物や形など)のことばとの組み合わせでできた点においては共通性がある。

(7) 海の奇跡、氷の宝石 北海道・豊頃の十勝川河口

【豊頃】十勝管内豊頃町大津の十勝川河口近くの海岸に氷塊が次々と打ち上げられている。透明な宝石やクリスタルのようで、幻想的な光景が広がっている。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160125-00010001-doshin-soci>)

(8) 知ってますか？関東一の厳冬地 今村涼子の「今天」

栃木県の土呂部では20日、マイナス15.2度まで下がりました。朝は北海道を抜いて、全国でも一番寒い場所となりました。そこで、きょうの「今天」がこちら、「関東の寒さの横綱！土呂部(どろぶ)ってどこなの？」です。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/videonews/ann?a=20160120-00000047-ann-soci>)

(8)の「横綱」はスポーツである相撲選手のもっとも強い方のことではなく、ここでは、ただその一位の意味を取って、いちばん寒いところを示している。相撲選手の間カテゴリーから場所の意味を表す空間のカテゴリーへの転用である。人間にしても空間の場所にしても強さの一位を表わすことの一致性を保っている共通点が残っている。以下同じ用例である。

(9) 解散騒動で打ちひしがれているファンに、さらにショッキングな事実が発覚！
25周年記念ツアーがまさかの白紙になっていた。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160117-00000502-sanspo-ent>)

(9) の「白紙」は白い紙ではなく、もとの状態、ここでは「25周年記念ツアーがなくなった」という意味を表わしている。白い紙にはまだ何も書いていない空白の状態の「白紙」のこの性質を取り立てて転用するようになり、文法化の程度が高く、辞書の意味項目にも記述されている用法である⁽⁴⁾。次の(10)も同じことが言えるであろう。

(10) 女性マネジャーと5人が最後にそろったのは、今月6日「SMAP×SMAP」の収録時。女性マネジャーは、「私はもう身も心もボロボロ」と号泣した。25年近く過ごしてきたメンバー5人との別れ。香取は育ての母の痛々しい姿に傷ついた。

(<http://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2016/01/22/kiji/K20160122011902530.html>)
本来は、服や辞書などの物がひどく破れたり壊れたりしている様子を「ボロボロ」で表わしているが、転じて、心身が疲れきったりする場合も示せるようになった。視覚で捉えられるものから視覚で捉えられないあるいは捉えにくい心理的部分に転用することになった。しかもいまの現代日本語では定着的用法として使われているようである。

(11) “スマスマ”25日放送は平常運転 昨年末収録分で生対応なし

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160124-00000170-sph-ent>)

(11) の「平常運転」は(9)(10)の「白紙」「ボロボロ」と比べて、まだ文法化途中のような用法であろう。“スマスマ”(フジテレビ系レギュラー番組「SMAP×SMAP」)の番組が「いつもどおり継続する」ことを示している。「機械が動く」ことの「運転」は「番組が続く」ことを指すようになった。

(12) この日、ベッキーは大阪市内でフジテレビ系「にじいろジーン」に生出演後、帰京して「金スマ」の収録に臨んだ。21日発売の「週刊文春」の続報で、川谷との関係継続を疑わせるLINEのやりとりが報じられた。“逆風”の中にいる金スマ仲間を励ますように、中居が「お前も大変だな。俺たち頑張っていこうな!!」と声をかけると、ベッキーの表情も和らいだという。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160124-00000501-sanspo-ent>)

(12) の「逆風」は自然の現象の向かい風を以って、世間の批判の声を示している。用法としてはそれほど文法化していないが、行動のじゃまになる共通性でわかりやすい表現だと考えられる。

(13) “卒論=離婚届”!? ベッキーと不倫騒動のゲスの極み乙女。川谷絵音に「さすが歌詞を書く人のセンスは違う」の声

一連の会話の流れから「二人の間で“卒論”は“離婚届”を示す隠語だったのでは?」という意見がネットを中心に噴出。「離婚届」がTwitterのトレンドに入るなど、大きな話題となっている。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160107-00012813-etalent-musi&pos=4>)

(13) はかなり独創的用語を用いている。隠語とも呼ばれているが、あまり言いたくない(口に出したくない、書きたくない)既成の語(「離婚届」のようなマイナス的表現)を話者の立場からプラス的にポジティブ的に捉えられるような語(いわゆる「卒論」)を使うようになったであろう。個人性の強い新鮮な表現で、広がる可能性はあるかどうかかわからない。

(14) 「卒論」に続き「センテンススプリング」が話題に……ベッキー流行語

その中で、2人は今回の報道は、むしろ交際がオフィシャルなものになるチャンスだとポジティブに捉え、「ありがとう文春！」などとメッセージを送信した。その文春をベッキーは、「文」を表す「センテンス」、「春」を表す「スプリング」という英語を繋げた造語で表現した。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160121-00000017-rbb-ent>)

(14) の造語である外来語の「センテンススプリング」も臨時的に作成されたあるいはからかいの意味合いを込めて創られた表現である。関係者の人だけにわかるかもしれないが、その英語的発音から推測して（もちろん週刊誌に報道された経緯を知った人々は）「週刊文春」のことを多少配慮的であるがすごく皮肉的にからかって言っていることが了解できる。

(15) <DAIGO>新婚旅行は「ATM」へ？ ノロケ止まらず

11日に女優の北川景子さんと結婚した DAIGO さんは、お互い多忙のため新婚旅行はまだ決まってないといい、報道陣からの「どこに行きたいですか？」との質問には「海外でもいいですし、最初は“ATM”（熱海）にでも」と得意の DAI 語で笑いを誘った。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160126-00000005-mantan-ent>)

(15) 「ATM」(熱海)の表現用法は独創性(個人的色彩が濃い点)において、(13)の「卒論」、(14)の「センテンススプリング」には近いが、表記のほうは漢字でもなくカタカナでもなく、ユニークなローマ字表記となっていて、しかも原語の構成要素である各仮名の頭文字をとる略語の用法である。DAI 語と呼ばれていて(これも異なる表現のよい例であるが)、ある程度の世間的認知度が高いことを物語っている。しかも真似しやすいので歌手 DAIGO さん以外の人たちにもたびたびこの造語法を運用して擬似 DAI 語を作ったりしている。

(16) DAIGO、北川景子への求婚は「KSK」 100キロマラソン直後に指輪も

きょう婚姻届を提出し、結婚を発表した女優の北川景子(29)と歌手でタレントの DAIGO(37)が同日、都内で結婚会見を開いた。かねてより交際してきたビッグカップルのゴールインとあり、会見場には報道陣210人が集結。金屏風を背に無数のフラッシュを浴びながら北川は左手薬指の指輪を披露し、幸せいっぱいに馴れ初めなどを語った。

マラソン完走を影で支えていた北川は「まさかプロポーズされるとは思っていなかった」とサプライズに感激したといい、「明らかな指輪の箱を渡されて、皆さんご存じだと思いますが、アルファベットでプロポーズされました」と笑顔で回顧。「(プロポーズの言葉は)“KSK”でした。(訳は)結婚してください。すごくうれしかった」と頬を緩ませた。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160111-00000315-oric-ent>)

(17) 北川景子&DAIGO「クリスマス ATAT (あつあつ)」デート

2015年12月23日のクリスマスイブ前夜。都内のホテルでおこなわれたディナーショーをこう締めくくった DAIGO(37)。しかし、彼のクリスマスはそれからだった。イブまで1時間を切った午後11時過ぎ。彼が DSQ (大至急) 向かった

先は、交際中の北川景子（29）の自宅マンションだった。

2014年1月に、バラエティ番組での共演から交際に発展した DAIGO と北川。「IH (I'm happy)」と北川が DAIGO 風の略語 を使ったことも。2人の仲が ATAT (あつあつ) な証拠だ。

本誌が見たクリスマスの2人も、まさに SNSN (新鮮) な“夫婦” そのもの。 25日の夜7時過ぎには、北川の自宅から2人でお出かけ。

「故竹下登元首相の娘である DAIGO の母も、北川のことは気に入っていると聞く」(別の芸能プロ関係者) MJ (マジ) で「W ういっしゅ」を見られる日は近いのだ。(http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20160107-00010000-jisin-ent&pos=3)

(16)の「KSK」は「結婚してください」を示し、(17)の「ATAT (あつあつ)」「DSQ (大至急)」は DAI 語であり、「IH (I'm happy)」はその婚約者の北川景子の造語であり、「SNSN (新鮮) な“夫婦”」「MJ (マジ)」は記事の作者がまねして作った擬似 DAI 語となっている。ただ意味的には名詞ではなく、形容詞用法や副詞用法やセンテンスになったりしている。面白くゲーム感覚的にリラクセス的雰囲気を作るために運用しているであろう。

以上は主に名詞についての異なる表現を論じたが、人間自身に対する呼称用法や自然現象・社会現象などさまざまなコトガラについて具体的使用例を取り上げながら観察しその使用原因をも分析した。文法化程度の差が見られるし、個人的ユニーク的用法も存在する。

3.2. 動詞の異なる表現

動詞の用法も興味深く観察できた。人間の記憶力の限界や負担量のことがあるから、すでに使われてきた動詞にどんどん新しい意味を取り入れる場合が多いと言えるであろう。

(18) 強い冬型の気圧配置の影響で、京都市の市街地では 20 日、今年初めての積雪を記録した。京都市北区の金閣寺も 雪化粧し、白と金色の美しいコントラストを池に映し出した。(http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160120-00000007-kyt-cul)

(18)で「京都市北区の金閣寺も 雪化粧し、」の表現には動詞「雪化粧する」が使われ、「白い雪に包まれた」「白い雪に覆われた」のような意味を示している。人間のとりわけ女性の化粧する行為を借りて、ファンデーション・口紅などをつけて、顔を美しく見せるようにすることと同じように、あたり一面（ここでは金閣寺）の景色が雪で覆われてきれいに見えることを指している。「包む」や「覆う」のような動詞表現より、「雪化粧する」は粋な表現で、人々に「きれいな一面」を見せるような素敵な動詞表現だと思わない？

(19) ----- Original Message -----

From: Booking.com

To: liqinan@pku.edu.cn

Sent: Sunday, January 24, 2016 7:38 PM

Subject: Qinan さん、つくば市への出張を活用しましょう！

こんにちは、Qinan さん！

つくば市へのご旅行まで一週間を切りました！

(19)は筆者宛てのメールである。その中の「つくば市へのご旅行まで一週間を切りました！」の動詞用法が日本語らしい表現だと思う。中国語ではこの「切る」意味の動詞「切」

にはそこまでの拡張的用法がないのである。日本語の辞書では「切る」の意味項目は『スーパー大辞林』では25項目に達している。1番目の基本義である「刃物などを使って一続きのものを分離させる。断ち分ける」から、16番目の本用法である「数値が、ある目安・限界よりも小さくなる。」までよく応用できたと感心するばかりしかない。ここでは「一週間より短くなる」（「もうそんなに日にちがないよ」という言外の忠告や注意のような発話機能的語用論）の意味を示している。

(20) さらに、今となっては独立を考えたメンバーが「造反者」のように扱われているのも解せません。報道ベースでは、少なくとも今年9月の契約満了までは続けてから辞めるという事でしたので、契約的に何か瑕疵があったようにも思えません（「契約」や「誓約」を破ると言うなら大問題ですが）。

(<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20160120-00010001-agera-soci>)

(20)の動詞「破る」も(19)の「切る」と同じような用法であろう。もとは「紙・布などを裂いたり穴をあけたりする」の身近な動作を表わすが、その上での拡張的用法である。つまり、「規則・約束などに背く行為をする」のような抽象的ハイレベル的行為を示すようになった。「手紙を破る」や「障子を破る」のような目に見える動作から視覚では捉えられないが心理的衝撃・破壊を受けるような行為を表現するようになったであろう。ちなみに中国語の場合は“违约”“违反合同”“毁约”のような言い方もあるが、日本語の「破る」と同じような“撕毀合同”の拡張的用法も使われている。

(21) 高畑淳子 2本のドラマで異彩放つ「吸い込まれる うまい」

三谷幸喜氏久々のNHK大河ドラマで、平均視聴率が第2話で20%を超えるなど話題の「真田丸（さなだまる）」（日曜後8・00）や、奥田英朗氏の人気小説を広末涼子（35）内田有紀（40）でドラマ化し、“夫殺し”という際どいテーマが話題となっているフジテレビ「ナオミとカナコ」（木曜後10・00）と現在放送中のドラマ2作に出演し、異彩を放っているのがベテラン女優・高畑淳子（61）だ。

……

データニュース社（東京）のテレビ視聴アンケート「テレビウォッチャー」（対象3000人）に寄せられた回答でも「高畑淳子が圧倒」（女性、43歳）「高畑さん、インパクトがあつてよかった」（女性、53歳）「高畑淳子の演技に吸い込まれるほど、うまい」（女性、45歳）など大絶賛だった。

脇のキャラクターが立つドラマは面白い。「真田丸」の薫、「ナオミとカナコ」の女社長…。色濃いキャラクターは今後“独走”してしまうのか、それとも主役をうまく引き立てるのか。高畑の演技そのものには全く注文の付けようがないだけに、あとは脚本でどう料理されるか。両作品を見る楽しみが1つ増えた。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160126-00000091-spannex-ent>)

(21)の中にある「吸い込まれる」の動詞受身形は「（演技が）上手」「うまい」のプラス評価の意味を表わす。その中に取り上げられた「高畑淳子が圧倒」「高畑さん、インパクトがあつてよかった」「高畑淳子の演技に吸い込まれるほど、うまい」などの大絶賛の表現とは似たような類義的ことば遣いであろう。どちらも女優の高畑淳子氏への好評・驚嘆である。動詞の「吸い込まれる」表現はその演技力に引かれていることを動的に示すこと

ができたと思う。「うまい」や「上手」や「よかった」のような形容詞よりインパクトがあって生き生きした絶賛のことばと言えるであろう。

ちなみに、上記の「圧倒」も動詞の異なる表現に入る。また、(21)の中に現われた「“独走”してしまう」や「料理される」も同じ意味のカテゴリーにおける異なる表現の好例である。

3.3. 形容詞の異なる表現

形容詞の場合、身体感覚のような用法からの拡張用法が用いられることが多い。

(22) 客数の減少は痛いが、商品の値上げが功を奏して、

(http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160122-00000000-jct-bus_all)

(22)の「痛い」は「困る状態だ」、「受ける打撃がひどくて、(すぐには)快復できないほどだ」のような抽象的意味を肉体的苦痛の感覚を借りて示している。

味覚の「甘い」「苦い」や触覚の「柔らかい」「堅い」や視覚の「明るい」「暗い」や聴覚の「鋭い」「高い」「低い」など五感を表わす形容詞の上記(22)のような他のコトガラについての身体感覚的用法が広く使われている。たとえば、次の(23)における「甘い」用法である。

(23) 浅田は演技を次のように振り返る。

「自分ではあまり納得していません。(トリプルアクセルは)入りは悪くないと思ったんですが、着氷が甘かったという感じがしました」

(<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20151127-00000015-sasahi-spo>)

3.4. 副詞その他の異なる表現

この節では同一のコトガラに関する異なる副詞の用法を考察する。次の(24)の中に使われる「まだ50代!」と「もう50代…」の用法が興味深い。同じ「50代」なのに、ネガティブに受け止められているのかポジティブに受け止められているのか、話者の心理がその副詞の部分に表れている。

(24) 「まだ50代!」と思う人の肌年齢は「もう50代…」と思う人より7.1歳も若い!?(<http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20160121-00010014-dime-hlth>)

副詞は本来つけなくても文としては成立するので、余計なものかもしれないが、わざと(あるいは無意識に)つけてしまう話者の心理もとてもよく代弁してくれる品詞だと思う。その意味で、認知文法論的客観性の高い表現だと考えられる。

(25) 嵐・大野智、4月連ドラでラブコメ初挑戦…日テレ系「世界一難しい恋」

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160125-00000155-sph-ent&pos=2>)

(25)にある「世界一難しい恋」の「世界一」は副詞的用法であり、その後ろの形容詞「難しい」を修飾して、その難しさが世界いちばんという程度の高さを強調している。世界一かどうかここでは、おそらく検証の仕様もないであろう。しかし気軽に使っていてしかも読者にもすんなりと受け入れられるのはなぜであろう。本来は、「とても」「もっとも」「いちばん」のような本場の程度副詞もあるが、この「世界一」のような名詞複合語のような表現が選ばれたのは、もっとも広い範囲を表わす「世界」と順位としてトップの「一」と

の組み合わせを通して、大げさだけだ、その難しさをよりわかりやすく示せたであろう。ちなみに純粹の数詞を用いて副詞的用法もある。

(26) 山路徹(やまじ とおる)氏「ベッキーついに第2の人生の始まりだな」

ベッキーのこれまでの清純で元気なイメージが一変してしまったが、山路氏は22日にツイッターで、「ベッキー、ついに第2の人生の始まりだな」とポジティブに捉えた。

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160122-00000124-nksports-ent&pos=3>)

人生は一度きり。これはもはや言うまでもない常識だが、(26)の中での「第2の人生」の用法はしばしば見られる。いままでとは違う新しい人生の道を歩む決意や励ましなどとしてよく使われるのも贅言を費やすまでもないであろう。「新しい」「いままでとは違う」のような意味の異なる表現としてメタファー的に応用しているだけであろう。

(27) DAIGO:24時間マラソン決断に「100%後悔ない」

(<http://mantan-web.jp/2015/05/27/20150527dog00m200000000c.html>)

(27)の「100%後悔ない」の「100%」はここで副詞の「全然」と同じ意味を表わすが、完全否定の徹底性の程度用語として新鮮さや意味の直截さが勝っていると思われるであろう。

4. おわりに

以上は、同じコトガラと異なる表現の関係について考察し論じた。主に語レベルから考えてみた。同じコトガラであるが、違う言い方が生じた原因について認知的立場から解釈を試みた。人間は自分自身や他人に関する認識もそうであるが、外側の自然界や社会におけるさまざまな物事を示す場合、注目の焦点があり、強調しようとする部分にスポットを当てて、ことばを選択して表現する。それは、発話が限定的要素しか示せない言語的宿命の原因かもしれないが、言語使用者はそのような宿命を変えようと思っていて異なる表現を巧みに応用していて、そのような束縛や桎梏からすこしでも解放できるように自己主張を敢行している試みでもあろう。

今回は人間の呼称以外に自然現象や社会現象などのコトガラに関する表現の多様性を見てきた。主に名詞、動詞、形容詞や副詞のような語レベルについてである。紙幅の関係で、構文レベルの考察などは次稿に譲る。

注

(1) 出典は以下のとおりである。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AB%E3%83%93%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%A3%BA>,
2016年1月26日参照

(2) ここの図(2)は本論文の図表の順による番号である。原著の引用部分はそのまま「図2.5」を使用している。

(3) 下線は筆者によるものである。以下同様。

(4) その意味で次の「水面下」「全面戦争」のような語も同じ用法であろう。

「(系列事務所含む)バーニンググループとジャニーズ側が水面下で交渉し、

何らかの『手打ち』をしている可能性は考えられます。『手打ち』があるのとないのとでは、退所後の展開がずいぶん変わってくるでしょうね」

ただ、「過去のケースを見てもここまで大きなものは稀」という騒動だけに、仮定の話だとしても、

「(ジャニーズ側とバーニング側が) 全面戦争になるかもしれませんし、大事にはならないかも知れません。そこはまだ読めませんね」

(<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160115-00000005-jct-ent&p=2>)

参考文献

池上嘉彦 (2007) 『日本語と日本語論』ちくま学芸文庫

小野正樹 (2015) 「言い換えマーカーの記述試案—言い換え行為の体系的理解を目指して—」『日本語 コミュニケーション研究論集』第4号 3-10

小泉保 (1990) 『日本語語用論』三省堂

山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2010) 『コミュニケーションと配慮表現』明治書院

徐昌华、李奇楠 (2001) 《现代日语间接言语行为详解》北京大学出版社

李奇楠 (2011) 「禁止表現の日中対照」『日本語コミュニケーション研究論集』第1号 103-112

—— (2012) 「励ましの日中対照研究」『日本語コミュニケーション研究論集』第2号 79-89

—— (2015) 「「訴え」発話機能について」『日本語コミュニケーション研究論集』第4号 11-21

Daniel Vanderveken (1990) *Meaning and Speech Acts*, Cambridge University Press. (邦訳: 久保進監訳 (1997) 『意味と発話行為』ひつじ書房)

Leech, G. (1983) *Principles of Pragmatics*: London: Longman.

Levinson, S.C. (1983) *Pragmatics*: Cambridge University Press

Ronald W. Langacker (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*: Oxford University Press, Oxford. (邦訳: 山梨正明監訳 (2011) 『認知文法論序説』研究社)

(李奇楠、北京大学外国語学院副教授、liqinan@pku.edu.cn)